



港工同窓会 ニュース

臨時号

平成19年10月20日発行

発行責任者 前田武男

十九年度定期総会&懇親 会報告

港工同窓会副会長

港十六期全機械科卒

銅谷 肇

京浜急行「雑色駅」を降りて、商店街を抜けると第一京浜国道にぶつかる。信号の右前方にそそり立つ建物が「六郷工科高校」である。

玄関を入ると、目の前に港工高の象徴であった「A型フォード」の勇姿が目に入る。その前方の階段を昇り左側の広々とした会議室が、定期総会の会場である。この校舎で港工同窓会の定期総会が行われるようになって四回目となる。

午後一時、西原副会長の開会宣言の後、前田会長が挨拶をする。

「本同窓会もサンケイホールでの再建総会を開いてから、早や十九年が経過しました。来年は二十年目の区切りの年となるので、同窓会を盛り上げるイベントを考えたい」

ご来賓として、六郷工科高校の浅見弘副校長先生の挨拶が続く。

「六郷工科高校は、今春、初めての卒業式が催され、第一期生百五十二名を社会に送り出しました。注目されているデュアルシステム科も港工卒業生からの紹介も頂き、百八十社の協力企業を得て、インターンシップ活動が行われております」

議長選出の後、例年同様に議事が進行する。平成十八年度の活動報告、決算報告が承認され、「会則改定」に関する苦労話に加藤理事から語られた。新役員が選出され、平成十九年度の事業計画と予算案が発表された。「ホームページを、もっと活用できないのだろうか」「案内などはパソコンのメールで送った方がいいのではないか」等々の活発な意見が交わされた後、事業計画および予算案は承認され、総会は終了した。

「雑色駅」から直通電車で「大門駅」下車。徒歩5分程で懇親会場の「芝パークホテル」に到着する。

総会場とは打って変わって、華やかな雰囲気のもと、前田会長の「俺、お前の楽しいひと時を過ごしたい」との挨拶が始まり、ご来賓として港工高の閉校時にご尽力頂いた第十四代和泉勲校長先生の挨拶が続いた。

「縁あって小石川工高の同窓会会長を引き受けたが、世田谷工高との統合により同窓会活動の継続が難しくなってきた。都立高校の統廃合により同窓会が危機に瀕している中、港工同窓会が永遠に続けられることを願っております」

第十二代関透校長先生の挨拶と乾杯の発声により懇親会が開宴された。帝国ホテルのシェフだった料理長の料理と酒を堪能しながら、ご出席

の先生方から一言、お言葉を頂いた。大谷忠雄先生、木村武敏先生、土屋義昭先生、富田幸雄先生、前嶋正人先生、本杉不二夫先生、両角亮一先生、山田信幸先生、渡辺邦夫先生と往事の懐かしい話が披露された。

宴もたけなわの中、昨年も好評だった「ホテルのマジックショー」が始まる。西乃蜜嬢の軽妙な話術と共に、コミカルなマジックが続き、会場は爆笑の渦に包まれた。

加藤理事の締め挨拶の後、事務局で奮闘している松岡理事の指揮の下、校歌を高らかに合唱してお開きになった。

来年は二十周年でもあり盛大な宴を準備しております。六月の十四日には、皆様お誘い合わせの上、多数の参加を期待しております。

第4回「六郷祭」のお知らせ

日時：平成19年11月3日（土）

13時～16時

平成19年11月4日（日）

9時～15時30分

場所：東京都立六郷工科高校

京浜急行「雑色駅」

下車 徒歩3分

平成19年度の総会案内は、住所判明者5、4、6名全員に送付しました。同封した葉書に記載して返信いただいた数は745通になりました。今回は「来年の同窓会再興20周年を控えて、港工の想い出を書いていたければ」との願いもあり、通信欄には、沢山の方々が近況と共に往事の色々なことを書いてくださりました。紙面の都合もあり、全てを紹介することは出来ませんが、その内容を抜粋して以下にご紹介申し上げます。

◆ クラス会の情報紹介

高輪(一本) 1E 小堤 一彦
平成17年5月27日「ホテル銀座ラフィナート」でクラス会を開催し、13名元氣に出席しました
港(全) 3期A 波多野 稔
10月にはクラス会が予定されておりますので、その際同窓会への参加を促したいと思います。
港(全) 5期E 畑野 純夫
私たちの「5Eクラブ」は毎年一泊でクラス会を開催、会報「5Eクラブ通信」を随時発行しています。都内でのクラス会も開催し、恩師をお招きしております。また毎月1回飲み会による懇親も行っており、元氣に過ごしています。
毎月会っていても思ひ出話は尽きることはありません。

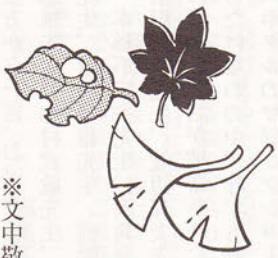
港(定) 5期C 山内 一次
定時制の5期の残数も少なくなり、時々5人ぐらいで集まります。
港(全) 7期M 中島 勇
今年「港工高7M会」で湯河原温泉一泊旅行を楽しんできました。愛宕山の校舎を巣立ってから早52年となりましたが、仲間達はいつも52年前のままでした。半世紀というの早いものです。..
港(全) 10期E 2 牧野 和男
総会当日は恒例のクラス会があります。クラスを代表して西村(理事)が出席します。今年の文化祭には是非行ってみたいと思います。
港(定) 10期E 代田 征治
今でも10期生は機械、電気、電気通信合同で同窓会を毎年続けております。高橋光春先生を始め、同期生が20名ほど集まります。
港(定) 11期E 水野 武
高岩稔君を中心にクラス会は年1〜2回で続けています。6月も一泊でゴルフの予定です。
港(全) 12期E 2 鶴田 浩一
12E2は、毎年クラス会を各地で開催し、変わらぬ顔ぶれで再会を喜んでおります。
港(定) 14期MB 和氣 正
最近3年程前にクラス会をしました。クラスの仲間5人程で毎月のように会っています。

港(全) 19期E 土井 博
H18年12月16日に森川洋佑先生を偲んで、19E1のクラス会を新橋で行いました。

訃報

ご冥福をお祈りいたします。
港(全) 32M 岸本 清志 昭和60年...没
高輪(二本) 3E 野崎 吉之介
悲しい知らせで、お知らせすることが出来ませんでした。
港(定) 14M 池田 慧 平成11年11月6日没
港(全) 14A 芹沢 孝 平成16年...没
港(定) 3E 清田 宏 平成17年4月18日没
港(全) 4M 坪井 日出夫 平成17年10月...没
港(全) 34M 藤田 一義 平成18年2月...没
麻布(二本) 2M 粕谷 隆志 平成18年11月14日没
高輪(二本) 3E 園部 信男 平成19年1月8日没
港(全) 12E 宮下 義幸 平成19年3月22日没
高輪(二本) 10M 赤堀 泰秋 平成19年4月6日没

麻布(二本) 2M 吉沢 安次郎
山とプランデー、数学の世界にひかれ、犬との暮らしも長く、5年前、散歩の折転び腰を痛め、歩く不自由さをおぼえてから、風にそよぐ庭の緑を眺め、グラスを傾ける毎朝が始まり、3月30日の外出を最後に、5月16日眠るがごとく旅立ちました。ご厚情うれしく感謝申します。
平成19年5月16日没
麻布(二本) 6M 井出 隆 平成19年...没
港(全) 3E 金沢 逐次 平成19年...没
港(全) 18M 海老沼 幸雄 毎回同窓会のお知らせ頂きありがとうございます。弟は平成7年12月に亡くなりました。又その母も今年4月に他界いたしました。母は息子がいなくなつたことはみとめたことなく、この知らせを頂いていました。本心に申し訳ありませんでした。払込金は何かの足しにして下さい。
平成7年12月...没



※文中敬称略

港工業の想い出(特別会員)

旧(理科)全 渡邊 國男

昭和25年から20年近く港工の理科教諭として勤務しました。丁度、東京タワーの建設の頃で理科室のペランダから「おつ、あそこまで出来たか」など思いながら眺めた思い出がよみがえります。田実、福島、井戸川、木内先生等、立派な先生方と一緒に過ごせたことを光栄に思います。或る日のこと助手の時さんが夕刻「先生、大変だ！生徒が屋上から落ちた」と準備室に飛び込んできた。屋上で遊んでいた生徒が西側の柵を乗り越えて落下。すぐ警察と救急車に連絡。下にあった樹木のお陰で一命はとりとめました。

旧(電気)全 山田 信幸

昭和25年から29年まで電気科に勤務しました。その教え子達も古希に近づいています。私も喜寿を超えました。現在、放送関係のOBの理事長やら協会の顧問やら変わらず忙しくやっています。当時は一番若手で、早坂校長や沢木教頭に従わず迷惑を掛けた思い出があります。

旧(英語)全 田島 貞雄

昭和28年、未だ敗戦色が尾を引いている時代でした。狭い校庭の25mプールで6月の初め頃から、水泳部員が水しぶきを上げて元気一杯、練習に励んでいる姿に新しい日本の未来を感じました。

昭和36年頃の事です。学校祭で英語劇を初めて演出した。5人ほどの英語部員が熱演。たまたま来場していた米国人が「高校生でも、これだけ出来るのか！」と感心してくれたことが、まだ記憶に新しいです。

旧(機械)定 三津田 宏

1959年4月、愛宕山の下の小さな定時制工業高校に、小さな私が教師として着任したときの緊張感は今でも忘れられません。そこで出会った生徒諸君と過ごした日々を振り返り感慨無量です。鼻っぱしの強い未熟な教師が、少しは教師らしくなれたのは、卒業生諸君のおかげだと思っています。良き生徒諸君と出会えたことに感謝しております。

旧(体育)全 小笠原 将幸

① 大卒直後の初任教でした。
② 富津臨海学校の開設と指導(毎夏二週間は寮に滞在した)
③ 体育祭で初めて全校民謡をプロに入れ、校長、全教職員、生徒が輪になり踊った。文化祭で戸板女子校生を迎え入れフォークダンスをした。

④ 昭和39年、東京五輪役員となり、5月からオリンピック終了まで学校を空けた。

まだまだ様々な想い出があります。現在は69歳もうすぐ古希になります。

旧(自動車)全 豊山 州生

北海道の片田舎から甲子園を夢見て高校の教師になったのですが、最初の赴任先がグラウンドの無い学校とは驚きました。短い期間でしたが福島・加藤岡先生の下で野球部を担当させて頂きました。屋上での練習、茂林寺での夏季合宿、多摩川河川敷等々、想い出はつきません。

旧(電気)定 伊藤 雅章

20代後半、港工に奉職させていただきました。生徒とは年齢も近く気軽に話が出来ましたが、仕事の都合や体力的、経済的な理由で退学する生徒が居た事には心を痛めました。先生方で勉強に励んでいる人が多く、それにも刺激され、昼は大学に通いました。大学卒業と同時に浜松へ帰郷しました。高齢者の仲間入りをした今となっては東京に足を踏み入れることも無いでしょうが、私にとって港工時代は、その後の原点になっていることは間違いありません。

旧(数学)全 両角 亮一

懇親会に行く途中、港工業の校舎の前を通ります。周りは変わっていますが、校舎はそのままの状態であることに何かほっとする気持ちになります。

旧(電子)全 菅原 彪

昭和46年度にミニコンピュータの予算がつき導入されました。今のポケコンよりも劣る性能でしたが、興味を持った生徒達が、毎日放課後遅くまで本当に真剣に実習に励んで優秀な生徒が多かったので、コンピュータメーカーや関連会社に就職し、現在富士通の部長や日本航空などで活躍している卒業生の事を懐かしく想い出しております。

旧(教頭)全 本波 哲郎

私が、ご厄介になった頃は日本中が好景気で学校も活気に満ちていました。駒沢運動公園の体育施設を借り切って、全校の球技大会を行ったことなど、懐かしい行事が今も記憶に残っています。

旧(保体)定 黒瀬 忠生

昼間の勤務、5時からの学習、疲れているだろうに放課後の練習に励み夏休みには教室の机の上で寝た合宿。おかげで私が着任して2年目に都でベスト8に入り、その後も良い成績を残したバスケットボール部。その頃の生徒ももう50歳を越していると思うと感無量です。

旧(教頭)全 木村 武敏

港工の同窓会再興時期に勤務できたことに感謝しています。名門校が何故こんなに狭い校庭なのか不思議でした。

旧(教助)全 樋口 しげ

昭和52年から教務助手、PTAの事務で15年間、港工に勤めました。入学、卒業、出逢いと新しい旅立ち、色々な思い出が一杯で80年の私の人生の中で大切な時間です。多くの先生方やご父母の方々に良くして頂いて、思い出と共に感謝いたしております。

旧(家庭)全 檜垣 栄恵

2月に行われた「物づくり展」に六郷工科が参加なさっていらつしやるのを知り嬉しく思いました。港工では、物づくりの素晴らしさをたくさん感じさせていただきました。多くの卒業生の皆様の物づくりを大切にする思いが、今の太田区、日本を支えているのだと実感しました。

旧(事務)全 安田 憲俊

港工業高校では閉校業務を担当しました。閉校後3年たちまちでしたが、校舎は現在も警視庁庁舎として再利用されています。ただ、当時の活気は無くひっそりしていました。

港工業の思い出(会員)

高輪(二本) 2期E 岩瀬 正義

白鳥先生(少尉)と直井先生(伍長)に放課後、マラソンの指導を受け、田町陸橋経由、京急の立会川駅往復を走った思い出が残っています。

両先生は、その後、麻布一連隊よ

り中支にて部隊全滅で戦死されたことが思い出されます。

麻布(一本) 3期E 雨宮 正彦

もう70年も前。昔のことだ。省線電車の浜松町駅から芝増上寺の境内を抜け、徳川の御霊屋のそばを通り紅葉坂(今の東京タワーのある所)を上り、飯倉に出て狸穴のロシア大使館、貯金局、中国大使館それから飯倉片町の停留所のところを右折し麻布小の前を通り、やっと麻布の母校に到着。これを学校の或る日は毎日繰り返した。とても懐かしい。

高輪(一本) 3期M 赤生 利夫

昭和20年1月14日、海軍予備練習生に志願。高輪から品川駅まで全校生徒に送られて出征したことが、いつまでも心に残っています。

高輪(一本) 8期M 鈴木 淳一

終戦直後の昭和24年3月19日、旧制5年で卒業。担任の明石朗先生宅(保土ヶ谷)に呼ばれ、心づくしの赤飯を頂いた。食糧難の時代、先生の好意は忘れない。はるか昔の話だが、まだ思い出す。

港(全) 2期P 加賀 佑治

昭和20年春、ラジオから「警戒警報」のアナウンスが流れると都内の電車はいっせいに停まる。「イトーロジョー ホコー ハーモニカ・・・」と口の中でつぶやきながら、まだ思い出す。

先生は、ご存命かな?

港(全) 2期P 加賀 佑治

昭和20年春、ラジオから「警戒警報」のアナウンスが流れると都内の電車はいっせいに停まる。「イトーロジョー ホコー ハーモニカ・・・」と口の中でつぶやきながら、まだ思い出す。

先生は、ご存命かな?

港(全) 3期M 加藤 弘

同窓会ニュース掲載の六平先生の思い出、なつかしく拝読致しました。昭和23年、秋田県の山村から上京、5月の編入試験で港工生になりました。当時の思い出は山ほどあり、私

ら、学校を飛び出し家路へ急ぐ。その繰り返しの日々。

昭和22年夏、愛宕校舎から瓦礫の道を新橋駅へ向かう。「東京ブギウギ」「港が見える丘」が流れていた。

港(全) 2期P 三宅 精二

昭和25年3月、超就職難の巷へ巣立った。「長崎の鐘」「ボタンとりボン」が流れていた。仲間の多くは電電公社へ就職。小生は何故か数年後に民放局へ。

港(全) 2期P 三宅 精二

今、奇しき因縁で、フジTVの重鎮となられ、その後、全国民放OB組織の長となられた、本学の山田先生と共に、電気通信社会への恩返しをしているところである。

港(全) 2期P 鈴木 常夫

昭和19年、澁谷工業に入学し、20年に戦災で焼失し、21年4月より高輪工業の校舎に転入した。更に22年4月より港工業に改名し、新橋に移り、23年4月より港工業高校と、めまぐるしい6年間でした。

港(全) 2期P 鈴木 常夫

「人生の枯れ木(期)に入らん我が命、大事に育てて俱会一処」の心境です。諸兄の健康と活躍を祈る。

港(全) 3期M 加藤 弘

同窓会ニュース掲載の六平先生の思い出、なつかしく拝読致しました。昭和23年、秋田県の山村から上京、5月の編入試験で港工生になりました。当時の思い出は山ほどあり、私

の人生の全てを決定した時代でした。

港(全) 3期A 宮田 嘉夫

桜川小学校に間借りしていた2年間、港中学に同居していた3年と、施設に限りの有った学窓時代でした。

食物が不足していた時に、皆、良く頑張った。

敗戦直後の昭和21年4月、当時の高輪工業に入学。学制改革により高校2学年まで下級生が入学して来ない経験をしました。昭和27年3月卒業以来、すでに半世紀以上たちましたが、現在も10名前後が毎年、集まっています。

港(全) 4期C 服部 明

昨年秋の学校祭に、同期生と一緒に行った。T型フォードの車が展示してあり、旧高輪工業の校庭に置いてあったのを思い出した。自動車科の人が整備して、銀座を走ったりしたのをなつかしく思いました。

港(全) 4期A 秋山 敏朗

入学当初は芝白金の親戚宅から都電通学、御成門で下車。下校後、芝公園で遊んだ。東京タワーは影も形もなかった。その後、別の親戚宅に移り、目白から新橋まで山手線を半周通学。超満員電車に疲れ、夏場は授業中によく居眠りをした思い出がある。半世紀以上、昔の事だ。

港(全) 4期E 羽根 高広

入学当初は芝白金の親戚宅から都電通学、御成門で下車。下校後、芝公園で遊んだ。東京タワーは影も形もなかった。その後、別の親戚宅に移り、目白から新橋まで山手線を半周通学。超満員電車に疲れ、夏場は授業中によく居眠りをした思い出がある。半世紀以上、昔の事だ。

港(全) 4期E 羽根 高広

入学当初は芝白金の親戚宅から都電通学、御成門で下車。下校後、芝公園で遊んだ。東京タワーは影も形もなかった。その後、別の親戚宅に移り、目白から新橋まで山手線を半周通学。超満員電車に疲れ、夏場は授業中によく居眠りをした思い出がある。半世紀以上、昔の事だ。

港(全) 4期E 羽根 高広

入学当初は芝白金の親戚宅から都電通学、御成門で下車。下校後、芝公園で遊んだ。東京タワーは影も形もなかった。その後、別の親戚宅に移り、目白から新橋まで山手線を半周通学。超満員電車に疲れ、夏場は授業中によく居眠りをした思い出がある。半世紀以上、昔の事だ。

港(全) 4期E 羽根 高広

入学当初は芝白金の親戚宅から都電通学、御成門で下車。下校後、芝公園で遊んだ。東京タワーは影も形もなかった。その後、別の親戚宅に移り、目白から新橋まで山手線を半周通学。超満員電車に疲れ、夏場は授業中によく居眠りをした思い出がある。半世紀以上、昔の事だ。

入学当初は芝白金の親戚宅から都電通学、御成門で下車。下校後、芝公園で遊んだ。東京タワーは影も形もなかった。その後、別の親戚宅に移り、目白から新橋まで山手線を半周通学。超満員電車に疲れ、夏場は授業中によく居眠りをした思い出がある。半世紀以上、昔の事だ。

港(全) 4期P 山本 武

ボン友が多くいて、卒業する頃は学校近くの麻雀店に出入りすることが日課となっていた。

港(全) 5期E 繁田 道男

新見君の円歌さんの話、懐かしく思い出しました。円歌さんとの最初の出会いは一寸だけ触れています、付け加えます。

NHKが内幸町にありましたが、通用口でNHKの方を待っているとき円歌さんが通りかかり「どうしたの」「何をしているの」と聞かれ、理由を言いましたところ、円歌さん自ら話を聞いてくださることになりました。そして新見君の文章につながっていくわけです。このとき円歌さんが声を掛けてくださらなかったら実現は無かったと思います。

記事に出てくる円歌さんは先代の方で、この話が出た頃の弟子に歌奴さんがいて、先代円歌さん共々学校に来て下さいましたが、この歌奴さんが今の円歌さんです。先代の円歌さんに感謝はもちろんです、その意思を次いで下さった現在の円歌さんにも感謝です。

それにしても先代の円歌さんが声を掛けてくださらなければどうなっていたらどうか。実現するまでの新見君の誠実な人柄が、先代円歌さんを動かしたのでしょうか。

港(全) 5期E 窪野 紀久夫

港工の唯一今日まで、お世話になった恩師は小澤彰先生です。私が卒業後、宇都宮大学の教授に就任され、新卒の大学院生を私の関係会社にお世話頂きました。社会に出てからも

親身にお世話下さった小澤先生には深甚より感謝しております。私には小澤先生以外、他の先生は全く記憶が無く、港工=小澤先生です。

現在もお元気に過ごされてる事なので、安堵しています。

港(全) 5期E 鳥海 規俊

電子顕微鏡写真関連の仕事で港工の隣の慈恵医大に行く度に、変わりがゆく母校に一抹の寂しさを感じていました。私の方が1年早く定年となったが、母校も建物は残っているが、他の組織が使っている様子。同級の森川君も手紙の届かない所に旅立ってしまった。東京タワーも数年後には第2タワーが出来るとの事、我が青春時代も遠くになりました。

港(全) 6期P 土子 敏夫

「円歌師匠との因縁」5C新見先輩の裏話に触れ、私達6期生の卒業式に来たときの懐かしい思いが、蘇りました。英語の六平先生の話では演劇部にいた時の苦労が思い出されました。私は71歳になりましたが、好きな山登りが出来る程度に、元気で毎日を過ごしております。

港(全) 7期M 高雄 隆三

六平先生の思い出話、なつかしく拝読させていただきました。早坂校長から卒業式で受けた訓辞「無駄のある生活を」が思い起こされます。

港(定) 7期M 銀木 太助

利根川を散歩するたびに校歌を口ずさんでいます。

港(全) 8期M 三本木 茂夫

何がきっかけだったか覚えていないが、授業中に担任の府川先生が突然怒り出した。おそらく居眠りか雑談するものが目にあまり堪忍袋の緒が切れたのであろう。先生自身は苦学を続けて現在に至った事、それに引き換え生徒達は親の援助で勉強できる環境にあることを切々と訴えた。クラス全員が静かに聞き入り、深い感銘を受けた。その後、先生と生徒との絆は確実なものとなった。青少年の教育とは、こういうものだと思う此の頃である。

港(全) 8期C 堀 隆次

授業中にどこからともなく珈琲焙煎の香りがした。昼食のパンを買いに行った、愛宕山下のパン屋さん。通学の都電、3番や37番からの車窓のこと。日比谷公園で開かれたモニターショウに行き、免許も無いのに憧れたオートバイなど、断片的に色々思い出されます。

港(全) 9期E 石田 善久

実家が飯倉で学校に近かった為、東京タワーの建築現場を横に見ながら徒歩で通学しました。実習で、モニターを作ったり、高電圧の実験では落雷の火花のような、アーク放電の輝きが目に焼きついています。

港(定) 9期C 佐田 一郎

かつての同級生6人に誘われて、三浦三山を軽登山の趣きで、歩いてまいりました。何十年か前の港工時代の事を思い浮かべながら楽しい一日を過ごさせていただきました。

港(全) 10期E 2 池田 克良

籠球部の屋上での練習、先輩に扱かれながら見た、緑とオレンジ色の横須賀線や湘南電車。眠くウトウトしながら授業中の窓から、建設中の東京タワーの鉄骨が、日に日に競りあがっていくのが見えたりしたのが懐かしく思い出されます。

港(定) 10期M 長谷川 弘

学校はなくなっても同窓会、クラス会が存在するのは心強い限りです。会社退職後10年になりますが、今でも週2回専門学校で講義を受け持っております。これも港工での教えが基礎となっております。

港(定) 10期C 市村 稔

新幹線が未だ走行していない修学旅行で、京都・四国に列車で船で長時間かけて、皆でワイワイガヤガヤ、楽しい思い出アルバムを懐かしく見せております。まだ皆、若かったです。

港(全) 12期M 田中 安信

来年の「再建20周年」には是非出席したいと思えます。

世界的マジシャンの前田知洋氏が港工のOBとは驚いた。

港(全) 12期C 桃井 義雄

担任の片山先生には大変お世話になりました。厳しい反面どこか優しさのある恩師でした。

英語の田島先生のおかげで今日があります。外資系に勤務し、定年プラス嘱託1年を経験しております。

卓球部の練習時「愛宕山」の階段が懐かしく思われます。

港(全) 12期M 石川 信一郎

総会案内はE之三で同窓会ニュースはホームページとすれば、メールアドレスを持っている人の分の通信費、送付手数料が省くことが出来ると思えます。

港(全) 13期C 中村 敬一

勉強以外では、野球部の活動か映画鑑賞の毎日でした。元気に過ごしております。

港(全) 14期A 岩井 勇夫

私の人生において、高校生活は最

も楽しく過ごせた時でもあった。自動車科に居ながら放送部で電気科、通信科の人々と知り合い、おかげさまで社会へ出てから電気関係の知識が大いに役立った。今また綾瀬市のシルバー人材センターにおいて電動

工具の修理、点検、パソコンの修理等幅広い社会勉強にも役立っている。

港(定) 15期MA 木村 智祐

毎日、新橋駅烏森口から愛宕山下の学校まで通った事が「かがやいていた思い出」として、いつまでも残っています。

港(全) 16期E2 藤本 勝明

同窓会ニュースの六平先生の「思い出あれこれ」を読み、運動会の仮装行列の盛大さ思い出しました。我々は1年「お富さん」2年「キリスト」3年「アレクサンダー大遠征」で、特に3年の時は大掛かりで本物に近い象や馬のハリコに人を乗せ、芝公園のグラウンドを1周しました。馬の足となったので会場での反応は憶えています。学校から芝公園の行き帰りで沿道の方々の驚きの眼差しを思い出します。

港(全) 16期E2 磯貝 秀明

子供の頃から絵や音楽の方が向いていた。しかし暮らしていけそうも無くて、ラジオ作りが高じて電気科に入りました。お蔭様にて理系で60歳まで暮らせました。今、改めて絵

など描いてPPK(ピンピンコロリ)を目指しています。

港(全) 17期M 森 茂昭

千葉の砂浜で柔道部の合宿がありまして、つらくて逃げ出しました。掴まりましたが、良い思い出です。

港(定) 18期MA 川本 信二

母校がなくなってしまうのは悲しいことですが、こうして同窓会が

港(全) 19期M 須藤 公二郎

19Mは、20年程クラス会は行われたことがありません。東京に出た時、遠回りして校舎の前を通りました。今は、工業系の仕事とは180度違う分野ですが港工に求心力が、何か見つければと思っています。

港(全) 20期A 牧 滋

英語の三島女史が「あなた達、何年勉強しているの、どうしてしゃべれないの？」その言葉にやる気ダウン。勉強の好き嫌いは、先生による影響が大だなと感じた。でもめげず、英語には関心があります。

港(定) 20期MB 岩阪 雅文

昭和35年に中学校を卒業、高度成長の日本を支えてきた団塊の世代です。今年には還暦を迎えます。多感な青春時代を送った、東京での生活が懐かしく思い出されます。定時制生活を送りながら、多くの友と出会えた事が、私の人生で一番大きな収穫

でした。秋頃には思い出の東京を旅したいと思えます。

港(全) 23期E1 佐山 文男

地元、六郷工科のある六郷出身です。新橋に3年間通い続けた思い出が、港工という名に多くの事を感じます。

芝公園での体育祭、E1のボード作り、陸上部での練習で女子高巡り等々、色々ありました。

港(全) 34期A 近藤 直樹

在校3年時は生徒会長として活動していたことが懐かしく思い出されます。東京電機大学に推薦入学させて頂きましたが、様々なアクシデン

トから中退せざるを得なくなり、母校の後輩諸氏には、ご迷惑をおかけしたと申し訳なく思っております。サラリーマン時代を経て、現在は独立を果たし、鉄道関係の職務器械のメンテナンス業を営んでおり、気が付けば本年で44歳です。月日が経つのは早いものです。バスケットボール部でボールを追いかけていた頃の体力は半減しています。

港(全) 48期E 佐藤 俊英

僕は港工業高等学校で頑張りました。僕は三田の生まれで、今も港工業高校の近くにいます。

港(全) 53期M 杉本 勇一

今現在、警察が旧校舎を使用している話は談笑の話題として使わせていただいています。

◇同窓会再建20年の経過

会計理事 松岡信之(港16A)

平成元年9月、それまで30年近くも休息していた港工同窓会の総会を復活すべく、現会計理事の加藤琢二先生(港3期卒)が、洞毛義弘先生(港3期卒)・栗田吉夫先生(港3期卒)に相談し、10月に幾本嘉男先生(高輪1期卒)並びに高橋光春先生(高輪7期卒)のご了解を得て、再建活動がスタートした。

同年12月、再建準備会を開催し、会則と役員候補及び臨時総会の日程等を決定した。総会までに大小数回の準備会を持って、平成2年3月25日「港工同窓会再建臨時総会」が、大手町のサンケイ会館で開催された。幾本先輩・高橋先輩をはじめ、再建に携われた校友の方々に感謝いたします。特に前田武男氏(港3期卒)には、新会長就任を快諾され、以来20年間にわたり、同窓会活動の先頭に立って推進し、今日を築かれましたことに心から感謝します。

(港工50周年記念誌から引用)

新生港工同窓会は役員一丸となって会員名簿の充実をはかり、新会員に対し名簿を発行し、現役への援助活動として文化祭行事案内を若手会員に送付してまいりました。

平成14年に「港工同窓会ニュース」

の創刊号が発行され、会員への情報提供を心がけてきました。

母校が平成16年3月に閉校となり、最後の卒業生からの入会金を徴収した後は、収入が絶えることとなるため会則を改定し、会員諸氏からの年額2,000円の賛助金にて運営することになりました。

理事会は、事業計画を立案して、

実施にあたっての準備名簿の整理、会報の作成・発送、秋の文化祭参加等々の作業と打ち合わせを、手弁当で年間20回にも及ぶ会合を持ち、会員諸氏と、より強い絆を求めて努力しております。「港工同窓会ニュース」も年間2回の発行を目標にしていますが、費用との関係で調整を余儀なくされております。

時流に即して「ホームページ」を立ち上げましたが、十分には機能しておりません。連絡の手段としても活用をしていきますので、皆様のご利用を期待しております。来年は再興20周年を迎えるので限られた予算の中で、新たな企画も準備しております。会員の皆様の積極的な参加と協力をお願い申し上げます。

*** 同窓会開催一覧 ***

第1回(再建)総会	平成2年3月25日	サンケイ会館	約200名
第2回総会	平成2年11月11日	サンケイ会館	51名
第3回総会	平成3年6月2日	サンケイ会館	76名
第4回総会	平成4年6月7日	サンケイ会館	80名
第5回総会	平成5年6月7日	サンケイ会館	56名
第6回総会	平成6年6月5日	港工高食堂	78名
第7回総会	平成7年6月10日	港工高食堂	83名
第8回総会	平成8年6月8日	港工高食堂	63名
第9回総会	平成9年6月14日	港工高食堂	55名
第10回総会	平成10年6月13日	港工高食堂	53名
第11回総会	平成11年6月12日	港工高食堂	58名
第12回総会	平成12年6月10日	港工高食堂(総会) 芝パークホテル(懇親会)	111名
第13回総会	平成13年6月9日	港工高食堂(総会) 芝パークホテル(懇親会)	121名
第14回総会	平成14年6月8日	港工高食堂(総会) 芝パークホテル(懇親会)	101名
(定時制閉課程式)	平成15年3月8日	港工高・メルパルク東京	140名
第15回総会	平成15年6月7日	港工高食堂(総会) 芝パークホテル(懇親会)	108名
(閉校式)	平成16年3月6日	港工高・芝パークホテル	250名
第16回総会	平成16年6月12日	六郷工科高(総会) 羽田東急ホテル(懇親会)	91名
第17回総会	平成17年6月11日	六郷工科高(総会) サンカントベル(懇親会)	88名
第18回総会	平成18年6月10日	六郷工科高(総会) 芝パークホテル(懇親会)	66名
第19回総会	平成19年6月9日	六郷工科高(総会) 芝パークホテル(懇親会)	62名
第20回総会(予定)	平成20年6月14日		

◆第四回六郷祭のご案内

六郷工科高校も開設して4年目になります。昨年は全学年揃っての初めての文化祭となり、全日制18クラス、定時制6クラスが出揃い、各クラブ、学科からの出展で賑わいました。港工同窓会も参加団体のひとつとして参加しております。

今年では従来の同窓会資料に加え、懐かしい機器等も展示する予定でおります。また、閉校式や懇親会でのDVDと、来年の懇親会にゲスト出演予定の前田知洋氏のマジックDVD、他にVHS開発(港14期大田義彦氏が紹介されている)のNHKプロジェクトXのDVD等を大型スクリーンにて楽しんでもらいます。

会場自体も、ゆつくりと寛いでもらえるよう休憩室として茶菓の用意をして、皆様をお迎えします。

開催日時は以下の通りですので、是非、お立ち寄りくださりますようお願い申し上げます。

*日時 平成19年11月3日(土)

13時~16時

平成19年11月4日(日)

9時~15時30分

*場所 東京都立六郷工科高校

京浜急行「雑色駅」

下車 徒歩3分

◆第20回総会&懇親会

「来年のことを言うと鬼が笑う」とか言いますが、大いに笑ってもらいましょう。次回の定期総会は来年の6月14日に開催されます。

第20回の区切りの年ということと記念となるような企画を準備したいと存じます。(世界的マジシャンの前田知洋氏には出演依頼済みです)

港工業高校も4年前に閉校となり、新たな卒業生新会員は出てきません。今いる会員の皆様は同じ学び舎で育った同士ということになります。

同級生、同期生そしてクラブでの先輩、後輩の皆様を誘って、同窓会再興20周年をお祝いしましょう。

平成20年6月14日(土)に沢山の方々にご参集されることを願っております。

◆事務局からお願ひ

ホームページの活用方法について、メールアドレスのある方には総会、文化祭の案内等、連絡事項をメールでお知らせしたいと存じます。総会案内返信はがきにアドレス欄を追加します。その前に連絡頂ける方は、左記までお願いします。

転居連絡、会報への寄稿、ご質問、近況等々も左記までお寄せ下さい。

〒278-0036

千葉県野田市中野台鹿島町23の7

(株)クリーンジャパン内

港工同窓会 会計理事 松岡宛

Tel 04-7125-6808

Fax 04-7125-6851

E-mail

atagoyama@minatokounei

編集後記

総会案内の返信はがきには、出欠、住所変更等の連絡事項の他に、会員皆様方の熱い思いが記されており、今回は20周年前の特集として、5ページを使い、なるべく多く掲載するように企画しました。

毎年、何通かの計報があり、なかには故人の同窓会に寄せた思いを綴って頂いた文が毎回あります。先輩の方々がいかに港工の思い出を大事にし、抱きながら旅立たれたか、とご様子を読ませて頂くと、万感胸にせまり、目頭が熱くなります。これを皆様にお伝えしたく、今回会員計報欄を設けました。

返信はがきには一部お叱りや苦情もありますが、殆んどが母校が閉校となった今日、会報への期待と発行継続の励みであり、引き続き努力したいと存じます。

今回秋の臨時号は、鍋谷副会長の発想と原稿作成推進力パワーに後押しされて発行することが出来ました。会役員・同窓生多数のご協力とご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。なお、六郷祭も装いを新たにして臨みますので、会員皆様のご来場をお待ちします。

編集子一同

前田知洋氏プロフィール



1965年・東京生まれのプロマジシャン

米国留学中にマジカルアーツのオーディションに合格。世界的に有名な「MAJIC-CASTLE」に日本人最年少で出演した。

帰国後、日本クロスアップマジック大賞等、数多くの賞を受賞し、世界的にも知名度が高まっている。

近年はTVへの出演も多くなり、トランプやコイン等、身近なものを使い、お客様の目の前で演じられる「クロスアップマジックブーム」に火をつけた人物の一人である。華麗なる指さばきに魅了されて「奇跡の指先を持つ男」と呼ばれている。

港工業高校36期の卒業生との縁で、来年の「再興20周年」には特別ゲストとして「奇跡の指先」によるMAJICを懇親会にて披露していただく予定で居ります。